

厚生労働省がん対策推進協議会 門田守人会長  
厚生労働省健康局 矢島鉄也局長  
厚生労働省健康局がん対策・健康増進課 宮寄雅則課長

厚生労働省がん対策推進協議会会長代理  
天野慎介

### **今後のがん対策の推進に関する意見書**

厚生労働省第 38 回がん対策推進協議会の開催にあたり、今後のがん対策の推進に関する意見書を提出いたします。

#### 記

#### **1. がん対策推進基本計画の中間評価に向けた評価指標の確立**

平成 24 年 6 月に改定、閣議決定されたがん対策推進基本計画については、中間評価に向けた評価指標が未だ検討の途上にあります。がん患者の身体的、精神的、社会的な痛みの評価と軽減に向け、評価指標を早期に確立し評価が開始できるよう、協議会において引き続き優先課題として検討するとともに、次期基本計画の改定および長期に渡る有効ながん対策に資する議論を進めるよう求めます。

#### **2. がん対策推進基本計画の推進における「積み残し」課題の解消**

基本計画における各施策に及び個別目標については、既ががん対策予算等で実施されているものや、検討会等で議論が進められているものもありますが、「未承認薬や適応外薬を医療現場でより使いやすくするための検討」「個々の希少がんに見合った診療体制のあり方の検討」「法的位置付けの検討を含めたがん登録と予後調査の検討」などについて、早期に検討を開始し、実現するよう求めます。

#### **3. 各地域の実情にあったがん診療提供体制の検討と診療内容等の公開**

がん診療連携拠点病院および小児がん拠点病院については、検討会等であり方が検討されていますが、個別の指定要件を検討するのみならず、診療体制の質を担保しつつ、各地域の実情にあった医療機関や診療所等とのネットワークを構築する方策を検討するとともに、拠点病院の診療内容や治療成績等を公開することで、がん患者や家族が適切にアクセスできる体制を構築するよう求めます。

#### **4. 全てのがん患者の身体的、精神的、社会的な痛みの軽減に向けた施策の推進**

がん患者の身体、精神、社会的な痛みの軽減は未だ不十分との声が患者や家族からは大きいことから、がん診療連携拠点病院の緩和ケアセンターや相談支援センター等を含む医療者による支援体制の整備、がん患者団体やピアサポート等を含むがん患者や家族による支援体制の拡充に資するための施策、患者の長期的な経済負担の軽減に資するための施策を、引き続き検討、推進するよう求めます。

#### **5. がん対策推進協議会と他の検討会、厚生労働省内及び省庁間連携の推進**

がん対策基本法に基づき設置されているがん対策推進協議会と、他の検討会等との連携を強化し、基本計画のみならず、がん対策予算や施策の検討を進めるよう求めます。また、健康局がん対策・健康増進課の増員や、がん対策に係る厚生労働省内の連携、文部科学省・経済産業省・総務省・内閣府等を含めた省庁間の連携を推進し、いわゆる「縦割り」を解消したがん対策を推進するよう求めます。